第6回 科学技術系専門職の男女共同参画実態調査（通称：大規模アンケート）実施のお知らせ

一般社団法人　男女共同参画学協会連絡会

継続するから、変化が見える

2003年から23年。第6回調査へ

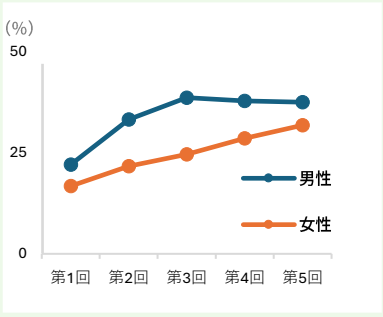
継続して調査することで、改善したこと、変わらない課題、そして新たに生じた課題を明らかに！

第1回～第5回・延べ87,380件の蓄積

2003	2007	2012	2016	2021	2026
第1回 19,291件 研究環境・キャリアの男女格差を可視化	**第2回** 14,110件 ポスドクの雇用不安 女性の「独立」の壁	**第3回** 16,314件 支援制度が進んでも研究資源・役職格差が残存	**第4回** 18,159件 昇進・評価・無意識のバイアスが課題	**第5回** 19,506件 女性の昇進の遅れ 任期の短期化・雇止め 社会保障加入率の減少	**第6回** あなたの回答が次のデータに

改善してきた指標を確認

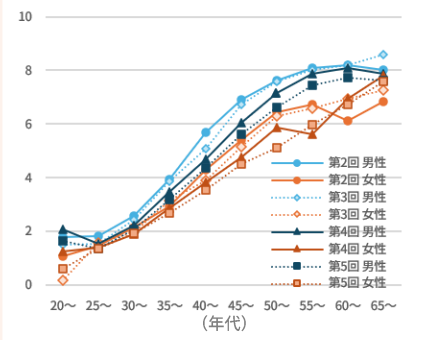
これまでの取り組みの成果を明示



大学等で研究室を主宰したい

何が変わっていないのか

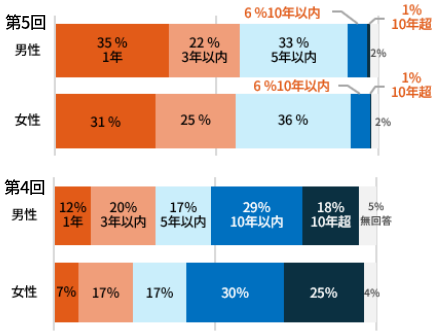
長年変わっていない課題を検証



大学・高専における男女別役職指数

何が新たな課題か

経年比較から見えた新しい課題を捉える



現職が任期付き職の任期年数

社会につながるデータ

みなさんの回答が、よりよい研究環境の実現に活かされます

- 学協会の提言・要望
- 政策検討の基礎資料
- 次回調査との比較基準

あなたの今を、未来のエビデンスに

アンケートの実施期間

2026年10月10日（土）

~~～11月13日（金）~~

～11月30日（月）までに延期します

回答はこちらから

Web回答はこちら
https://t-enq.com/enq/kagaku

実施：一般社団法人　男女共同参画学協会連絡会
公式サイト：https://djrenrakukai.org/

男女共同参画学協会連絡会とは

一般社団法人　男女共同参画学協会連絡会

科学技術分野で、女性と男性がともに個性と能力を発揮できる環境づくりのため、
分野を超えて学協会が連携し、調査・情報共有・提言・啓発を行っています

2002年発足

115学協会が参加
正式加盟113学協会+オブザーバー2学協会

2020年一般社団法人化

主な活動

- 大規模アンケート
- シンポジウム
- 加盟学協会の活動調査
- 提言・要望意識啓発
- 女子中高生の理系進路選択支援

学協会をつなぎ、データを社会につなぐ

第1回 19,291件 回答
2003年実施・2004年報告

平成17年版 男女共同参画白書で紹介

第2次男女共同参画基本計画の審議資料に活用

RPD等の研究者支援制度につながる提言の根拠に

第2回 14,110件 回答
2007年実施・2008年報告

平成21年～25年版 男女共同参画白書で「女性研究者が少ない理由」を連続掲載

女性研究者育成・数値目標に関する提言を継続

第3回 16,314件 回答
2012年実施・2013年報告

平成26年・27年版 男女共同参画白書、内閣府・文科省の審議資料で活用

ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブにつながる要望の根拠に

第4回 18,159件 回答
2016年実施・2017年報告

平成30年版 科学技術白書で活用

研究環境・女性登用・評価指標等の提言へ

第5回 19,506件 回答
2021年実施・2022年報告

JSPS資料で活用
- 男女共同参画推進基本指針
- CHEERS！
- 調査研究報告書

雇用問題・研究復帰・家族帯同等を含む近年の提言活動へ

第6回
2026年実施

継続調査だからわかる
- 変化を可視化
- 課題の抽出
- 次の提言・要望につなげる

より良い研究環境のために

上記は主な活用例です。出典：内閣府「男女共同参画白書」、文部科学省「科学技術白書」、日本学術振興会など

継続するからこそ、見えること

調査する→ 課題を可視化する→ 提言・要望する→ 政策・支援策につなげる

1. 時系列で変化を追える
2. 変わらない課題を可視化できる
3. 国の白書・政策資料の根拠になる
4. 次の改善提言につながる

公式サイト
https://djrenrakukai.org/

お問い合わせ
danjo_office24@djrenrakukai.org

EPMEWSE